

浦安市女性プラザニュース

Urayasu Women's Plaza News

今回の特集は「“気づく”ことから始まるジェンダーフリー」

Plaza Information

プラザ・インフォメーション

“ジェンダー” “男女共同参画” という言葉に
ピンとくる人も、こない人も・・・Come on!

昨年10月1日にオープンした「女性プラザ」、皆
さんをご存知ですか？もうのぞいてみましたか？

「女性プラザ」では、男女共同参画やジェンダーに
関連する様々な情報提供、悩みごとなどの相談、市
民の皆さんのネットワークづくりのお手伝いをして
います。なんだか堅苦しそう・・・と思う方もいるか
もしれませんが、それぞれの目的に合わせて気軽に
利用していただける施設です。

例えば、女性問題やジェンダーについて学びたい、
自己啓発講座に参加したいという方には、セミナー
やイベントのご案内をしています。育児や再就職につ
いても、支援機関やサービスなどの情報提供をして
います。また、仲間と活動をしたいという場合は



掲示板で仲間募集をしたり、打ち合わせにミーティ
ングスペースを利用していただけです。特に目的がなく
ても、空いた時間にちょっと寄って、図書や資料を読
んで過ごしてもいいのです。こんな情報が欲しいとい
う要望、質問なども、気軽にお電話、またはカウ
ンターでお問い合わせください。

女性、男性、それぞれが抱える疑問や問題を少し
づつ取り除き、自分らしく輝く一そのきっかけづく
りに、女性プラザを利用していただければと思います。

Woman's College Report

ウーマンズカレッジ・レポート

“浦安ウーマンズカレッジ（企画政策課主
催）”が昨年10月24日に開講し、現在、14名が参加
しています。

本講座では、「結婚・親子・職業・社会参画」を
テーマに学習しています。13回にわたる講義とグ
ループ学習の中で、自分の考えをうまく伝えるこ
とを学び、参加者同士がお互いの信頼関係を築き
あげていくことを体得します。さらに、家庭・職
場・社会の中で自分らしさを発揮できることを目
指しています。この講座で学習したことが、自身
のエンパワーメント（女性が力をつけること）に
つながり、ひいては、浦安という地域に還元され
ることを期待しています。

私たちが提案する、これからの浦安、私たちの生き方
～女性も男性も共にいきいきと生きるために～
ウーマンズカレッジ開講中！

また、受講生がこの講座を通して学習・研究した成
果を発表するフォーラムが下記のとおり開催される
ので皆さんもぜひご参加ください。

ひと ひと
第14回 女と男うらやすかがやきフォーラム

日時：2月8日（土）14:00-16:30

場所：浦安市文化会館小ホール

講師：樋口恵子氏（東京家政大学教授）

ウーマンズカレッジ受講生による研究発表および
樋口氏による講演を行ないます。参加希望・お問
い合わせは、企画政策課（内線1505）まで。

特集 “気づく”ことからはじまるジェンダーフリー

“ジェンダー”って？

ジェンダーという言葉聞いたことがありますか？ジェンダーってどういうことなのでしょう。日本語では「社会的・文化的に形成された性別」と訳します。生物学的な性差（セックス）ではなく、女性はこうあるべき、男性はこうあるべきといった社会通念をもとに後天的に作られた性別で女性・男性を区別することをいいます。

ちょっとここで私たちの周りを見て見ましょう。たとえば、女性だからこうだ、こうあるべきとか、男性だからこうだ、こうあるべき等と思ったことはありませんか？

せんか？お茶くみは女性がやるもの、意思決定は男性がやるものと分担が決まっていたり、女性は優しく、男性はたくましくなど、気がつかないうちに「意識の刷り込み」がされていますか？性別で役割を決めつけるのではなく、一人の個性ある人間としてとらえること、これを「ジェンダーフリー」といいます。

少し意識してみると、私たちはけっこうジェンダーに関わる問題に囲まれていることに気がつくはずで。そう、これに“気づく”ことがジェンダーフリーへの第一歩になります。

「女らしさ」「男らしさ」にとらわれて、自分を見失っていませんか？あなたらしく生きていますか？

性別よりも、個性を大切にしたいと思いませんか？

女性・男性をいつも区別して考える必要はあるのでしょうか？

無意識にジェンダー発言していることありませんか？

ジェンダーチェック!!

夫は働いて家族を養っていれば、家事や育児はやらなくてもよい。

妻が親の介護をするのは当然だ。

いざという時は夫が決断し、妻が従うべきだ。つい「女の子なんだから」「男のくせに」などと言ってしまう。

女性は結婚して子供を生むのが幸せだ。

男性が育児休暇や介護休暇をとるのは、責任感が足りないと思う。

女性は決断力や指導力がないので、リーダーには向かない。

近所づきあいは妻の役目だ。

ことばにみるジェンダー

私たちが普段何気なく使っていることばにも、ジェンダーが反映されているものがたくさんあります。例えば、「主人」や「奥さん」という呼び方。夫が家の「主（あるじ）」であり、妻は家庭を支える「従」とい

う上・下の関係を感じさせます。夫婦関係は対等なパートナー同士が自然であり、「さんの奥さん」と呼ばれることに抵抗を感じる女性も多いはずで。

また、メディアでよく使われる「サラリーマン」や「OL」ということばも、稼ぐのは男性であり、男性が仕事の中心となる存在、女性は補助的な作業をするものという意識を強く印象づけます。一人一人の考え方や働き方は多様化しているのに、女性が男性かでひとくくりにしてしまう。

たかが呼び方、単なる習慣、と思うかもしれませんが、ことばには、私たちの社会や文化が反映されます。ことばに敏感になり、「なんかおかしいよね・・・」と感じたら、ちょっと考えてみる。そういう小さなことから、あなたのジェンダーフリーもはじまります。

女流作家 女医 女性大臣 女子高生

女性が社会の中で何かするとき、「女」という冠をつけて呼ばれることがよくあります。新聞や雑誌では、職業や身分について、必要以上に性別が強調されています。主役は男性だという暗黙の想定、性的なイメージを抱かせる、ジェンダー的な表現といえます。

男女共同参画にむけて

近年、ジェンダー問題への意識が高まる中、行政でも「男女共同参画社会」という考え方にもとづき、さまざまな取り組みを始めています。

国では。。

1999年に「男女共同参画基本法」が成立し、男女共同参画局や官房長官を議長とする男女共同参画会議が設置され、推進体制が強化されるとともに、基本法及び基本計画に基づき、総合的に施策を推進しています。

浦安市では。。

21世紀の浦安市にふさわしい男女共同参画社会づくりをめざし、2002年「うらやす男女共同参画プラン」を策定しました。

「女と男が認め合い、共にかがやくまち・うらやす」を基本理念に、さまざまな施策を定め、取り組みはじめています。右枠の内容を見ていただくとおわかりのように、皆さんの生活に直接関わることがたくさんあります。



社会で、家庭で、学校で。。

浦安市では、以下のような事業（プランより一部を抜粋）を行なっています。

- 男女共同参画意識に関する講座の推進
- 女性のための相談事業の充実
- 子育て支援センターの整備・運営
- ファミリーサポートセンターの整備・運営
- 在宅介護支援の充実
- 男女が共に取れる育児・介護休暇制度の周知
- 企業への男女の平等な待遇等の意識啓発
- 再就職等の情報提供や相談の充実
- パートサテライトの運営支援
- 仕事と育児・介護の両立に関する意識啓発
- 保育施設の整備・充実
- 女性のエンパワーメントのための学習支援
- 活動支援ネットワークの構築



。。。男女共同参画社会（基本法）とは？。。。

女性と男性が、固定的な役割分担意識にとらわれることなく、職場、家庭、地域、学校など、あらゆる分野で、ひとりの人間として個性と能力を發揮できるような社会。1999年に制定された基本法では、「男女の人権の尊重」「社会における制度または慣行についての配慮」「政策等の立案及び決定への共同参画」「家庭生活における活動と他の活動の両立」「国際的協調」の5つを基本理念としています。

Key Word

【性別役割分担】 女は「仕事も家庭も」？

個人としての適性や性格を考慮することなく、性別で、固定的なイメージをもって決められる仕事の割り振りのことです。例えば、女性には「気配り・優しさ」が、男性には「決断力・強さ」が期待されたり、「男は職場、女は家庭」という考え方もこれにあたります。性別による決めつけや思いこみは、男女それぞれの仕事の領域を狭めてしまい、さらに、男性の仕事は有償で、それを支える女性の仕事は無償、という優劣を生むことにもなっています。

また、働く女性が増える中、女性は「仕事も家庭も」という「新性別役割分担」も生まれています。

おすすめ本

ジェンダーについてもう少し知りたい、と思ったら、読みやすい本を手にとってみてはいかがでしょうか。市の図書館には関連書籍がたくさんありますし、女性プラザでも本の貸し出しをしています。まずは、ぱらぱらと・・・。

「ジェンダーがわかる。」

朝日新聞社
AERAMook

多くの専門家・学者がさまざまな切り口でジェンダーについて語っています。エッセイやコラムを読む感覚で読める一冊です。



Book Guide

ブック・ガイド

熟年離婚 第三の人生を歩き始めた女たち 増永朋子 ユック舎

はじめは幸せに思えた結婚生活なのに、すれ違いから夫婦の溝は深まっていき、大切な問題も全く話し合えない関係に。結婚26年、50代にして「離婚」を決断した著者が、自分の思いを大切にしながら、精神的にも経済的にも自立を勝ち取っていく奮闘期。同じく離婚を経験した6人のストーリーも織り交ぜて、女性の生き方を考えます。大切なことは、一人で生きる力を養うこと。妻となり母となっても、仕事を続ける気構えをもつべき、といったアドバイスもあります。問題を前向きにとらえ、自由に、自分らしく、新しい人生を踏み出す勇気がわいてくる一冊です。



Active Woman

アクティブ・ウーマン

アクティブウーマン&サークル募集中

このコーナーでは次回より、市内で活躍する女性や、積極的に活動しているサークルを紹介していく予定です。皆さんの身近にいる魅力的な女性、イキイキ活躍している女性、おもしろいことに取り組んでいるサークルなど、ご存知でしたらぜひ女性プラザまでお知らせください。サークルの活動紹介、仲間募集の掲載希望も受け付けます。

また、女性問題やジェンダー研究に取り組んでいる方、勉強会などを行っているグループの方、女性プラザと情報交換しませんか？ぜひご連絡ください。

Event & Service

イベント&サービス

「フリーフリー・テレフォン」21世紀職業財団
働く人に安心アドバイス、家庭との両立を応援!!

043-225-2020

「育児」・「介護」・「家事」のサービスについて、わからないことがあったら、電話で相談しよう！保育サービスに関すること、高齢者向け福祉サービスや介護用品のこと、家事代行サービスのことなど、相談窓口や施設まで、幅広い情報提供が受けられます。受付は、月曜日から金曜日（祝日を除く）午前9時30分から午後4時半まで。

女性と仕事の未来館 3周年記念 講演&パネルディスカッション 「働く女性のワーク&ライフ」

日時 平成15年1月25日(土)13:30-17:30
場所 女性と仕事の未来館4階ホール(田町駅・三田駅)
費用 無料 (要予約)
講師 樋口恵子氏(女性と仕事の未来館館長)
大戸武元氏(株式会社ニチレイ代表取締役会長)
玄田有史氏(東京大学社会科学研究所助教授)
詳しくはホームページ(<http://www.miraikan.go.jp>)をご覧ください。(FAX用の申し込み用紙をダウンロードできます)また、お申し込みやお問い合わせは、女性と仕事の未来館(03-5444-4151)まで直接ご連絡ください。

ミーティングスペース、フリースペース、
掲示板を活用してください。



ミーティングスペース(8名程度利用可/テレビ・ビデオ有/要予約)やフリースペース、掲示板を、女性を中心としたグループの活動に利用していただいています。お気軽にお問い合わせください。

浦安市女性プラザ

開所: 月~金 8:30 - 17:00 (土日祝休み)
住所: 浦安市猫実1-1-2
浦安市文化会館2F
電話: 047-351-1111 (内線1050)
FAX: 047-353-1145
Mail: urayasu-womensp@jcom.home.ne.jp

編集・発行: 浦安市女性プラザ

困っていること、悩みごとがあったら・・・

「女性のための相談」
毎月第1・2・3火曜日
(10:00~16:00)

毎月第4火曜日
(14:30~20:00)

「女性のための法律相談」
毎月第4火曜日
(10:00~16:00)

事前に「女性のための相談」等を受けた方が対象です。

